

消費生活

No.154
令和7年11月30日

編集発行 成田市消費生活センター ☎0476-23-1161 成田市花崎町760 市役所3階

特集

◆冬が来る前に気を付けておきたいこと

消費者講座を開催しました！

6月16日(月)に(一社)ECネットワークより 原田 由里 氏を講師に招き、「知って得する 最新のインターネット消費トラブルとその対策」をテーマに第1回消費者講座を開催しました。ネット通販などのインターネット取引のトラブル事例やネット広告で確認するポイント、詐欺サイトの特徴や手口、消費者が被害に遭わないための対策などをわかりやすく学べる講座となりました。



8月26日(火)に日本デジタル終活協会より 伊勢田 篤史 氏を講師に招き、「今から考えるデジタル終活」をテーマに第2回消費者講座を開催しました。故人のスマホやパソコン内にあるデジタル遺品への事後対応の手順やSNS、サブスクリプションサービスといった具体的なデジタル遺品の探し方や処理方法についても解説され、生前対策としてエンディングノートなどを活用して家族とスマホ・パソコンのパスワードを共有することが重要であることなどを学べる講座となりました。



今後も楽しく学べる消費者講座を企画しますので、皆様のご参加をお待ちしています！



が来る前に 気を付けておきたいこと

◆重大な事故につながるおそれも ~長期使用の石油ファンヒーター~

事例

20年以上前に製造された石油ファンヒーター。灯油が残った状態でカートリッジ式のタンクに給油しようと、タンクを持ち上げたら灯油が漏れた。メーカーに苦情を言ったら、「機器が古いため、フィルター周辺部品の劣化の可能性がある。そのフィルターはもう製造していない」と言われた。

原因と対策

- ① 石油ファンヒーターは長く使用しているうちに、熱や湿気、ほこりなどの影響で部品が劣化して発煙・発火し、場合によっては火災などの重大な事故につながることがあります。
- ② 業界団体等では、石油ファンヒーターの点検・取替の目安を8年としていますが、たとえ年数が経っていないなくても、機器に異常を感じたら直ちに使用を中止してメーカーや販売店に点検・修理を依頼してください。「石油ストーブ」は法律に基づき安全基準が定められており、日々安全性が強化された製品が開発されています。新しい製品に買替え、安心して使用するという選択もあります。



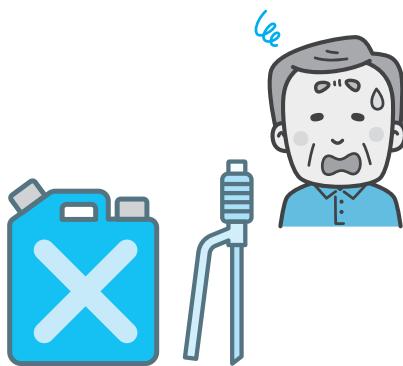
◆暖房器具に昨シーズンの灯油を使ったら

事例

新しく購入した石油ファンヒーターに、保管していた灯油を入れたらエラー表示が出た。メーカーからは「灯油に水分が含まれており、エラー表示が出た。部品交換が必要」と言われた。

原因と対策

- ① 灯油は保管中に日光や熱による変質や、水や異種の油などの混入により「不良灯油」になることがあります。不良灯油を暖房器具に使用すると、煙が出たり緊急消火ができなくなったりするなど、故障の原因になります。
- ② 暖房器具を片付けるときは、取扱説明書に従って内部に灯油を残さないように処理してから保管しましょう。
- ③ 灯油はそのシーズン中に使い切りましょう。



◆長期保管のカセットボンベ ~ガス漏れに注意~

事例

数年前に災害時の備蓄として購入しておいたカセットボンベをコンロで使用したところ、火が出た。すぐに消し止めたが、ボンベからシューと音が漏れていた。

原因と対策

- ① カセットボンベは、製造から長期間経過したり、保管環境が悪かったりすると、内部パッキンの劣化などによってガス漏れする可能性があり大変危険です。
- ② 使用期限の目安は、製造後約7年とされています。製造年月日を確認し、わからないものや、金属部分に変形やさびが見られるものは使用をやめましょう。
- ③ ボンベは先端のキャップをつけた状態で、直射日光のあたらない40℃以下の湿気の少ない場所で保管しましょう。
- ④ 空になったカセットボンベは、必ず中身を使い切って、金物・陶磁器・ガラス類の袋(黄色)へ入れて捨てましょう。※成田市の場合

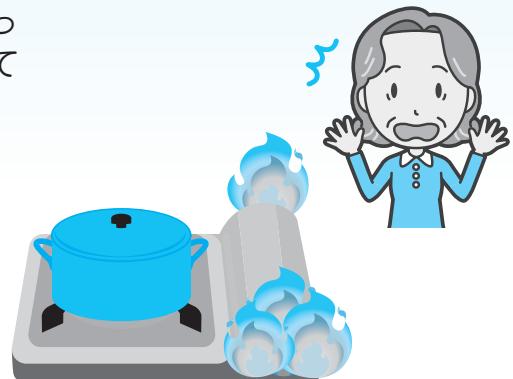
●カセットボンベの処理に関するお問い合わせ先

一般社団法人日本ガス石油機器工業会

カセットボンベお客様センター

TEL : 0120-14-9996

受付時間：平日10：00～12：00 13：00～16：00



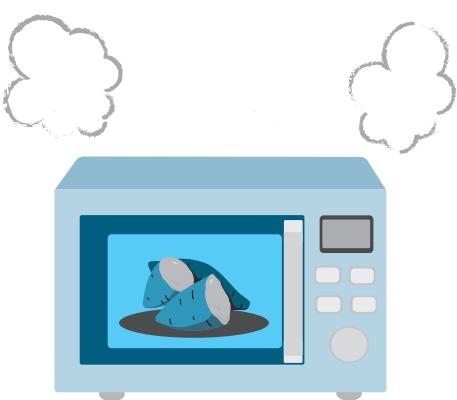
◆電子レンジ庫内の発煙・発火 ~焼き芋を作ろうとしたら~

事例

焼き芋を作ろうとサツマイモを皿にのせ、ラップをかけないまま7分間の設定で加熱したところ、5分ほど経った時に突然発火し、庫内から煙が出てきた。

原因と対策

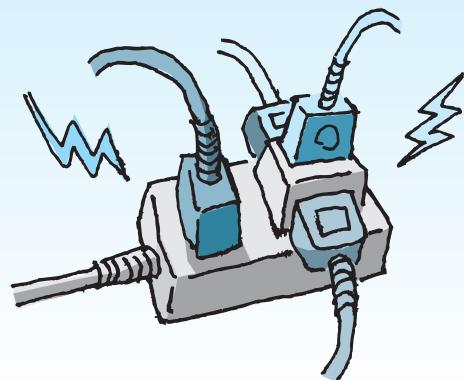
- ① 食品が少量の場合、根菜類など水分が少なめの食品では、思ったより短時間で加熱が進み、食品の発煙・発火が起きることがあります。取扱説明書をよく読んで、わからない場合は短時間ずつ様子を見ながら加熱しましょう。
- ② 電子レンジの庫内に食品かすが付着していたり、汚れが蓄積していたりすると、それが原因となり、突然発煙・発火することがあります。日ごろからこまめに手入れを行い、汚れはその都度ふき取ることが大切です。
- ③ 発煙・発火した時は、直ちに動作を停止させて電源プラグを抜き、扉を開けずに煙や火が収まるのを待ちましょう。



◆年末は配線器具の掃除・チェックもしましょう

大掃除のついでに、配線器具を確認しましょう。

- ① 電源プラグ、および電源タップはこまめに掃除し、水分がかかるないようにしましょう。
- ② 電源プラグが変形していたり、ゆるんでいないか確認しましょう。
- ③ 電源コードを引っ張る、机やいすの脚で踏むなど、無理な力が加わった形跡を確認しましょう。
→電源コードの芯線が断線して、異常発熱や発火に至るおそれがあります。
- ④ 使用可能な最大消費電力を超えて使ってないか確認しましょう。
→テーブルタップなどには、使用可能な最大消費電力（定格消費電力）が定められています。それを超えて使用すると発熱を生じ、事故にもつながります。
- ⑤ 異常発熱や異臭など異変を見つけたら、直ちに使用を中止しましょう。



親子で学ぶ消費者講座を開催しました♪

8月3日（日）に（一財）関東電気保安協会千葉事業本部から講師を招き、「夏休み電気安全教室 備長炭電池を作ろう！」をテーマに小学3～6年生を対象とした「親子で学ぶ消費者講座」を開催しました。クイズや実験も交えながら電気の安全について学んだ後、備長炭やアルミホイルなどを使って電池を作りました。備長炭電池と電球やオルゴールをつなげることを通じて、電気が流れる仕組みについて親子で楽しく学ぶことができ、夏休みの貴重な体験となりました。



備長炭電池を作りました！



親子で楽しく学びました。

消費生活に関するトラブルでお悩みの方、お気軽にご相談ください。

相談日時：月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 午前9時00分～午後4時30分

● 成田市消費生活センター(成田市役所3階) ☎23-1161 ●